



NHK地域局の技術職が
携われる仕事は
たくさんあるんです…!!

渡辺 史顕†

まえがき

皆様初めまして。NHK 北九州放送局 4年目の渡辺史顕です。NHKは全国に放送局があり、各局ではその地域に必要な情報をお届けし、またときには魅力などを全国に発信して地域に貢献できるよう日々取り組んでいます。私はその中で技術として仕事をしていますが、皆様がイメージしやすい番組制作以外にも放送局の技術には多種多様な仕事があります。そこで今回はNHKの地域放送局での技術の業務内容をお伝えするとともに、私がNHKを目指したきっかけを交えつつNHKで働く魅力を皆様に少しでもお伝えできればと思います。



北九州市の小文字山からの夕日（北九州市はとても住みやすい場所ですよ！）

NHKでの技術の仕事って？

公共放送であるNHKは多種多様な番組制作を行っており、技術は撮影や音声、ビデオエンジニア（VE）、照明、スイッチャーなどの立場で関わっています。しかしこのような制作業務は技術の仕事のほんの一部です。放送を出すためには放送機材やスタジオ、番組送出設備、またスカイツリーのような地域一帯に電波を発信できる送出設備など本当にたくさんの機器がシステムとして稼働しています。そのため、そのような設備のメンテナンスを行ったり、新しいシステムを導入するための開発

や整備なども重要な業務です。そしてNHKは放送局として日本で唯一放送技術に関する研究所を有しており、将来の放送のあり方を見すえた研究も業務のひとつです。これ以外にも業務はたくさん挙げられるのですが、このようにNHKの技術職の業務内容というのは本当に多岐にわたっており、自分がやりたいと思ったことに挑戦できるというのがNHKで働く良さの一つだと思います。そして東京や大阪などの規模の大きなところでは上記のような業務が分業制になっていて、それぞれの業務のスペシャリストがいます。全国にある地域局とよばれる人員規模が小さな局では、制作業務から機器のメンテナ

ンスや最新設備への更新、そして新技術開発業務など幅広い業務を行うことができ、若手のうちはたくさんの仕事を覚えることができるのが良いところだと思います。いろいろな業務を行って広く知識をつけていきたい人にとって地域局というのはとても魅力的な職場です。

NHKに入ったきっかけは？

私は元々NHKの研究所で立体映像放送実現のための研究を行いたいという思いがありNHKに入りました（現在もその思いは変わっていません！）。そもそも自分が研究者を志したきっかけは、メーカで開発業務に携わっていた父の影響も大きいのですが、中学生の時に

† NHK

"NHK's Technical Staff Have the Opportunity to Experience a Wide Range of Job Responsibilities" by Fumiaki Watanabe (NHK, Kitakyushu)

発明家になっていろいろなものを作りたいと思うようになり、高校からは理系の道に進みました。ちょうどその頃にスマートフォンが普及し始め、とてもきれいで大きな画面をタッチ操作ができることや、手のひらサイズの小さな端末でさまざまな情報を見られることにとても感動しました。いつかは自分もこういった新しいものを開発し、たくさんの人を感動させたいなと漠然と思ったことは今でも覚えています。もしかすると今こうしてNHKで働いているのも、そうした経験が影響しているように思います。その後も研究開発の道を目指して大学院まで進んだのですが、実はそれまでNHKに研究所があるということを知りませんでした。修士課程の研究室でホログラムを用いた研究に携わったことから立体映像への興味が強くなり、元々もっていた映像技術に関する新しいものを作りたいという思いと合わさって、立体映像という今までにない体験でたくさんの方々に大きな感動を味わってみたいと思うようになりました。そんな中でちょうど私が在籍した研究室にNHKの技術研究所から博士課程で来られている方がおり、NHKの研究所では立体映像放送の研究も行っていることから一気にNHKに入りたいという思いが強くなりました。メーカへの就職も考えましたがなかなか立体映像技術の開発を行っているところは少なく、また立体映像を活用した魅力的なコンテンツがなければ、多くの方に立体映像の面白さを感じてもらうことはできないと考えました。そうしたなかで研究から実際の放送への展開まで行っているNHKは、立体映像の研究を志す私にとってこれ以上ない理想的な場所だと思って入局をしました。

北九州局での業務について

地域局のメインの業務のひとつに毎日のニュース番組の制作や送出があります。NHKではお出かけ前の朝の時間帯や、19時前、21時前の時間帯にニュースを各地域局ごとに制作してい



ロケで撮影している様子

ます。地域局発のニュースでは、その地域ならではのニュースをメインに取り上げ、地域の情報をきめ細かく発信しています。そのニュース送出時のニュースセンターでの送出業務やニュース用の素材のロケ、そしてときに中継現場からの中継業務といったものが主な制作業務になります。北九州局は九州の他の局と比べると人員は少ないですが、制作に関わる量は少ないわけではありません。他部署との距離もとても近く、番組の提案などの話をディレクターや記者の方と気軽に相談したりできます。そんな恵まれた環境のおかげで、先日は自ら夕方のニュースへ企画を提案して半年以上入念に取材を続け、地元の郷土史家を訪ねお話を伺いながら形にしていき、撮影、編集、ナレーションまで携わり、放送に出すことができました。東京や大阪などのように規模が大きく業務範囲がはっきりしていると難しいですが、職員同士の距離が近い北九州局ならではの思いがあります。このように技術職でも興味を持ったことを番組で放送できたりする点や、地域に寄り添った番組を積極的に作ることができるという点が地域局で働く大きなメリットだと思います。実際に自分も制作をしてみて、普段何気なく見ているニュースがどれだけたくさんの取材を重ねて作っているかや、自分の力で地域の魅力を発信して視聴

者の方に喜んでもらえることの達成感や嬉しさを実感できました。

制作業務以外でまず新人が皆行うのはテレビ・ラジオ放送の送出・監視業務です。普段何気なく見ているテレビも、映像や音声が途切れることはもちろん、ノイズがのったりすることなども放送事故として厳しく監視しており、365日24時間常に正常に放送が継続できるようにしなければなりません。そのためには放送がちゃんと出ているかの監視はもちろんですが、急に機器トラブルなどで放送が途絶えたりしてしまったときにも即座に対応できるよう準備や想定をしていなければならず、そのためには放送がどのような仕組みで送出されているかを学ばなければなりません。放送技術の基礎や機器の役割など学ぶことが沢山あり、技術者として成長できるきっかけにもなります。一方で、こうした日々の業務から課題を発見し改善していく、新技術開発も大切な業務です。私自身も将来研究開発業務を行いたいこともあり、業務を覚えていく中でこんなことをしたら業務改善になるだろうという事柄を見つけ、開発提案から製作を少しずつ進めて今年の春ごろに完成をさせることができました。

放送を常に送出し続けられるように機器の定期的な保守や更新もしっかりと行っています。設備更新の際には、



自分で導入提案した新システムの動作チェックの様子（研究室にいたころを思い出します）

確実に放送を継続できるのか、費用対効果を十分に検討したうえで、品質や性能が要件を満たしているのかのチェックはもちろん、工事工程で事故になりかねないところはないかなど細かく丁寧に検討・準備をして取り組んでいます。私はどちらかという思い立ったら即行動をしてみようとするタイプなので、初めの頃はこのような姿勢にじれったさを感じたりしたこともありましたが、しかし他の放送局でのヒヤリハット事例を聞くなかで、少しだけ手順をおろそかにしたことがどれだけのミスにつながるかを実感し、準備をすることの重要性を身にしみて感じました。入局して数年でそうした経験ができるのはとても重要なことだと思います。

以上のように、本当にさまざまな業務を行わなければならないので効率良く業務を遂行していく必要がありますが、

その分達成感も大きく感じるができますし、与えられた仕事をこなしていくだけでなく自分で必要なことや、やってみたいことを見つけて業務を行うことができるというのも地域局で働くことの良さであると考えています。

むすび

私は北九州局に配属されて技術者としても人間としても成長ができたと感じており、充実した毎日が過ぎていきます。ですが一方で、私がNHKでこうして働けているのは、今までの人生でのさまざまな出会いや経験などに導かれた結果とも感じています。例えば大学院進学の際に研究室が変わってなかったら、自分はまた異なった道を歩んでいたかもしれません。もしかするとその方がより充実した生活を送っていたかもしれません。しかしそんなことはいくら考えても無駄ですし、大

事なのは今の自分がどうかです。きっとどんな選択をしても自分が幸せになれる道はあると思いますので、今この文章を読んでいるあなたにはどうか深く悩み過ぎず、自分が進んでみたいと思った道に迷わず進んで欲しいです。そしてその時はしっかりと自分のいる環境に向き合って全力で頑張ってください。そうすればきっと幸せな日々が送れると思いますし、もし辛いことがあってもその分の幸せは将来きっとかえってきます。

そしてもう一つ、もし今夢見ていることがあるのならその夢への挑戦は絶対に諦めないでください。私も今の生活に満足はしていますが、入局前から夢見ていた技術研究所で立体映像放送実現のための研究を行うという夢を諦めたわけでは決してありません。それは今は楽しいか、満足できているかとは関係なく自分の人生は一回だけである以上、挑戦もせずに諦めた夢への後悔は一生残り続けると思うからです。誰しもが夢を叶えられるわけではありませんが、挑戦をしても叶えられなかったことと、挑戦をせずに終わったかでは大きな違いが生まれます。ですので強く夢見たことがあるのなら今の環境に関係なくぜひ挑戦をしてください。

以上、本当の最後になりますがこの文章を通してNHKの業務について知っていただけたのも何かの縁だと思います。ですので、もしほんの少しでも興味をもっていただけたなら、これを機会にぜひNHKについて少しでも調べてみてください。NHKに入りたいと思っていただけたらもちろん嬉しいですが、そうならなくともきっと新しい出会いにつながったりして、あなたの人生がより豊かなものになるはずですよ。

(2023年9月29日受付)